

Activity Report Group "D"

Member : Momoko Osaki

当グループの大崎桃子さんが
6月下旬に女の子を出産されました！

新しい命を育むという特別な時間を、どうか穏やかに過ごしてください。

私たちは、いつでも大崎さんの復帰をお待ちしておりますが、まずはご自身とご家族の健康と幸せをどうぞ大切にしてください。

大崎さんがまた水産女子に戻られる日を楽しみにしつつ、活動を進めてまいります。

メンバー一同より、心からのエールを贈ります。



Blessings on the birth of your baby!

Activity Report Group "D"

Member : Ryoko Iwafune



【厳しい水産状況とその対応】

今年の三陸の水産業は、鮭やさんま、ういの不漁に伴う価格の高騰、さらに悪いことに、海水温の上昇にともなうホタテの貝毒と、過去に類を見ないほど厳しい状況に直面しました。しかし、そのような中でも地元の魚屋として「今ある魚をいかに美味しくお届けするか」をテーマに商品を揃え、対応してまいりました。

【水産女子仲間との連携：レシピカードの作成】

水産女子の仲間たちと情報交換を重ね、特にこちらであまり注目されない魚種に焦点を当てたレシピカードを作成しました。これらのカードは当店の店頭を設置し、お客様に自由に手に取っていただける形で提供しています。「こんな魚の食べ方があるなんて知らなかった」「新しい料理に挑戦してみた」といった声をいただき、レシピカードが日常の食卓に小さな変化をもたらしていることを実感しています。

【未来の水産業のために】

今年の経験を通じて、未来の水産業を守るためには、海、川、山を含めた環境保全活動への理解と協力が不可欠だと強く感じました。水産業を支える自然環境が危機に瀕している今こそ、地域だけでなく全国の水産関係者と情報を共有し、持続可能な水産業を目指していきたいと考えています。

～三陸宮古から未来の水産業を見据えて～

2023年を振り返ると、厳しい水産状況の中で、地元のお客様や全国の仲間とのつながりを大切にしながら活動を続けた一年でした。

【地元でのお魚料理教室の開催】

今年は月1回、地元の方々を対象にお魚料理教室を開催し、計10回を無事に実施しました。料理教室では、魚の基本的なさばき方から、手軽で美味しく作れる調理法を提案することで、魚をより身近に感じていただくことを目指しました。

参加者の方々からは、「新しい調理方法を知ることができた」「魚料理が苦手だったが、自信がついた」という声をいただき、地元での魚食普及に貢献できたと感じています。



Activity Report Group "D"

Member: Yuki Kumon

2024年も「水産女子」として、地域振興や水産物の普及、復興支援を目的に幅広い活動を展開しました。主な取り組みを以下にまとめます。

【復興支援への取り組み】

○能登半島地震への対応:

- ・被災地支援として、加賀市の避難所でブリ・鯛の解体ショーを開催し、被災者の笑顔を引き出しました。
- ・地震の影響で落ち込んだ地元産品販売を回復させるため、積極的なイベント開催やプロジェクト支援を展開。

【地域振興プロジェクトへの参加】

○地元酒造と連携した復興プロジェクト:

- ・「つなぐ石川の酒」プロジェクトで、地元の酒と魚の楽しみ方を提案。収益の一部をJFいしかわに寄付。

【水産業界の情報発信と交流】

○中小企業診断士との交流を通じた事業講話や、石川県水産振興協議会での意見交換など、産業全体の振興に寄与しました。

【商品普及活動とイベント開催】

○地域水産物の販売促進:

- ・「市場ごはんしげ」の生マグロ・かじき、「カネジョウ大崎」の塩サバ、「岩船商店」のホヤなど、メンバーの水産物を取り扱い、店舗やワークショップで提供。
- ・能登かきを対象にした「買って応援！食べて応援！」キャンペーンを実施。SNS活用で殻付き牡蠣150個を販売し、売上の一部をJFいしかわへ寄付。

○料理体験型イベント:

- ・親子料理教室で「カニ面作り」を指導。地域食材の魅力を親子で体感してもらいました。



【メディア・広報活動】

○テレビ出演:

- ・BS朝日の「バトンタッチ SDGsはじめてます」やテレビ金沢での特集出演を通じて、地元の魚の魅力为全国に発信。これにより、県外からの顧客増加を実現しました。
- ・季節ごとの旬の魚を使ったレシピを紹介し、魚食普及を促進。



今年元旦に起きた能登半島地震当店は大きな被害はありませんでしたが、震度5強の揺れを経験しました。その際に、安否を気遣ってくれたり、「何か必要なものがあったら言ってね！」などお声掛けいただいた水産女子メンバーの方々には感謝いたします。スーパーからは水・食料が一瞬でなくなり、その後も県内は自粛ムードが漂いました。買い控えや人と人との集まりがなくなり、当店も2月は昨対70%を割りました。11月のズワイガニ解禁の際には被害の大きかった輪島港でも操業が始まり、復興に向けての一歩を踏み出しております。まだまだ復興には時間がかかります。微々たる力かもしれませんが、石川県のおさかなを買って応援！食べて応援！をお願いいたします。

Activity Report Group "D"

Member: Keiko Imoto

～マグロな一年：止まれば終わり、泳ぎ続けた365日～
2024年も気づけば、マグロのように止まることなく動き回った一年でした。自称「自他ともに認める回遊系女子」としての成果をここにまとめます。

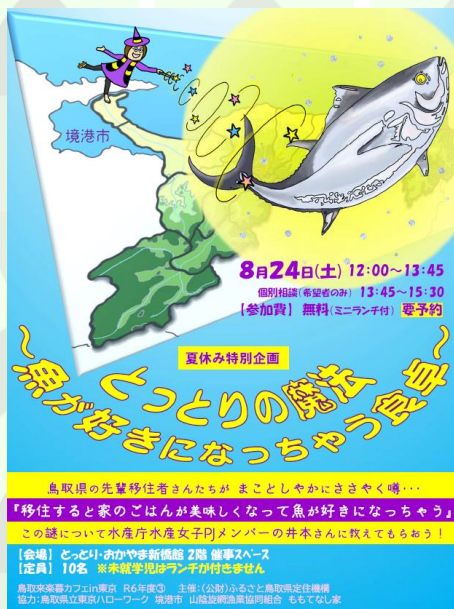
【職場の女性職員を牽引する日々】

組合参事という立場から、今年も職場の女性職員たちを叱咤激励しつつ、女性活躍に注力しました。「チーム運営はマグロ漁と同じだ」と心に刻み、チーム全員が同じ方向を向いて泳ぎ続けられるようサポート。時にはメンバーがエサ（モチベーション）を見失いそうになることもありましたが、そこは私の出番！適切なタイミングで励ましの言葉を投げ込み、再び回遊ルートに戻す工夫をしました。ただ、女性職員たちのパフォーマンスが向上した結果、職場全体が「大漁旗を掲げたような」賑やかさとなりましたが…。

組合女子職員（一部）
と一緒に



組合事務所にて



【境漁港でマグロ水揚げに通う日々】

現在、太平洋クロマグロは国際基準に則った管理が行われており、国内でも「漁業法及び特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律の一部を改正する法律」の施行に向け、境港では着々と準備が進められています。

今期、水揚げがあった日にはほぼ毎日岸壁に足を運び、新たな法律施行に伴うトレーサビリティの強化や漁業者への対応策について、漁港全体で協力しながら取り組みました。関係者の方々と密に情報交換を行い、現場での動きや課題を肌で感じる日々でした。

【アンテナショップでの「境港のさかな」講演】

鳥取県のふるさと定住機構からの依頼で、新橋にて「鳥取の魔法～魚が好きになっちゃう食卓～」と題し、講演を行いました。当日は境港産の白イカ、マダイ、サザエを持参「新鮮でおいしい！」という声が続々と上がり、参加者の満足度も高い講演となりました。ただ魚を届けるだけではなく、その魅力を直接伝えることがいかに大切かを改めて実感、今後に繋げていきたいと考えます。

【会議、会議、会議の会議三昧】

今年も資源管理に関する会議にほぼ毎日の大量出席。気づけば、会議室の椅子と友達になりそうな勢いでした。正直、水産女子としての活動時間がどんどん吸い取られて行っております。

資源管理は年々高度化・複雑化。「この魚、どれくらい獲れる？」どころか、「TAC（漁獲可能量）をどうする？」や「データがどうのこうの…」と、内容は海よりも深い議論ばかり。今後、TAC対象魚種もさらに増える予定で、一層複雑になること間違いなし。また、当組合では現在「共同利用冷凍冷蔵施設」を建設中。これは地域水産業の成長産業化を進めるための大事な一歩！境港が全国のモデルケースになるよう、全力で取り組んで参ります。



【境港の水産物をPR】

組合所有の境港水産物直売センターの責任者としてメディア出演を毎年数多く熟しています。今年もテレビ、ラジオ、雑誌など、さまざまなメディアに出演。「境港の水産物は新鮮そのもの！」と、出演するたびに全国に向けてアピール。視聴者から「おいしい魚を食べたくなった」という声が届くたびに、地元の水産物をより多くの方々に知ってもらえる喜びを感じています。



今年も相変わらずマグロのように泳ぎ続けた一年でした（カナヅチだけど）。これからも慌てず（多分無理）、騒がず（これも恐らく無理）、落ち着かず（これはそう）全力で泳ぎ続けていきたいと思ひます。

以上、2024年の活動報告でした。来年も乞うご期待！

海の宝！水産女子の元気プロジェクト Jグループ 活動レポート



海の宝！水産女子の元気プロジェクト

Jグループ メンバー紹介

株式会社BKTC 小瀧 由貴

普段の業務：薬膳サーモン・薬膳餌の生産・販売

株式会社大成 田中 淳子

普段の業務：水産加工品販売

こんぶのせっけん 開発・販売

NTTグリーン&フード株式会社 横井 優子

普段の業務：陸上養殖業

日鉄エンジニアリング株式会社 府金 佳子

普段の業務：海面養殖向けシステムの企画・営業



(左から) 田中・小瀧・横井・府金



活動の概要

海の宝！水産女子の元気プロジェクト

(おさらい)

水産女子の 取組みと狙い

本グループワークの 取組みと狙い

本プロジェクトのメンバーや企業等、さまざまな人との繋がりの中で、新たな価値を生み出し情報を社会に広く発信することで、漁業・水産業に携わる女性の存在感を高めるとともに、女性にとって働きやすい漁業・水産業の現場改革や仕事選びの対象としての漁業・水産業の魅力向上を後押しする。

- ① メンバーの業務を視察し、異業種の取組やその魅力を理解したうえで情報発信を目指す。今回は当グループメンバーの小瀧さんが手がける「薬膳サーモン」の生産現場(北海道登別市白老)を視察し、意見交換を行った。
- ② 上記①に絡め、近辺の水産業に関連する施設等を視察する。今回は、水産女子事務局のご協力を得て、「札幌市中央卸売市場」を視察した。

御参考：推進会議時（グループ結成時）メモ

グループ： 丁

提出用

メンバー： 田中, 府金, 横井, 小瀧

※事務局との連絡係は1名に○をつけてください。



現状・課題

- 水産女子メンバーを通じて、魚の現状を体験する。
- それぞれ、個々に活動しているのですが、活動の群しく知らない。
- 日本各地の水産女子の会社訪問し互いに理解を深めたい。

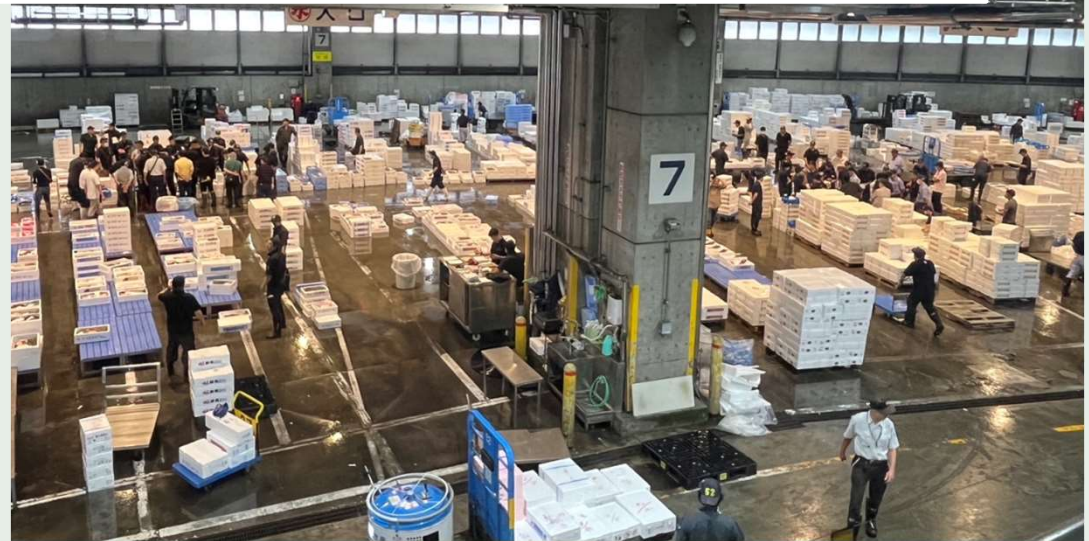


方向性・目標

「養殖エサの薬膳エサ」など、様々なエサをニジマスに
与えて、実食をしてみる（食料→酒かス、ふん
など）
↓
北海道薬膳サモン/弓ヶ浜/青森県エビ/
etc
メンバーの 各部下の所で水産養殖に興味ある
方も同行も予定。
冷凍試作販売現場訪問
「全員の職業体験ツアー」
定期web会議開催

視察レポート

- ① 薬膳サーモンの生産地視察 & 意見交換
- ② 札幌市中央卸売市場視察
- ③ (番外編) 視察あれこれ



① 薬膳サーモンの生産地視察 & 意見交換

【はじめに：薬膳サーモンとは】

当グループメンバー・小瀧さんが代表を務める [\(株\)BKTC](#) が、オリジナルの薬膳餌(※)を開発。その餌を摂取して育った機能性表示食品サーモンのこと。

(※) 薬膳餌においては、魚粉の低減も実現。

【特長】

- 臭みが少なく、魚が苦手な人もおいしく食することが可能。
- 余分な脂肪分が無く、ダイエットをしている人にもおすすめ。
- サーモン業界初の機能性表示食品。機能性関与成分「アンセリン」を含有。尿酸値が健常域で高めの人において、尿酸値の上昇を抑制することが報告されている。

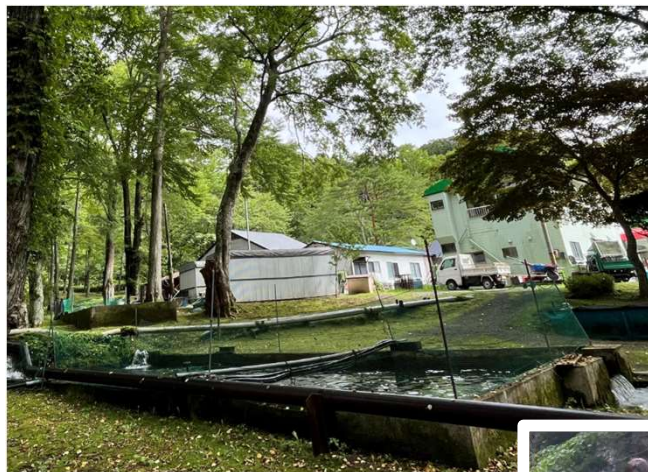


寿司職人の顔も持つ BKTC代表・小瀧さんと
薬膳サーモン

① 薬膳サーモンの生産地視察 & 意見交換（続き）

【視察の様子】

- 生産地は登別市白老。環境省の水質測定で全国水質 1 位に選ばれたこともある倶多楽湖の伏流水を利用した、かけ流しの陸上養殖。夏でも涼しくひんやりした気温を肌で感じ、サーモンにとって良い環境と感じた。
- 養殖場・齊藤社長曰く、「薬膳餌で育ったサーモンは歩留まりが良い」とのこと。その要因等を北海道水産試験場とともに小瀧さんにて研究中。
- グループメンバーで実際にサーモンを試食。臭みが無いというのはそのとおりで、サーモン特有のにおいが苦手な田中さんも「これはイケる！」とおいしく食すことができた。唐揚げにしても脂っこすぎることなく、おいしかった。
- 小瀧さん曰く「薬膳やその効能に関しては勉強の日々。ダイエットや美容・健康に役立つ薬膳餌の開発は、女性の感性を活かしながらやりがいがあり何としても目標を達成したい。」とのこと。日々の挑戦に対し、情熱をもって取り組んでいる様子がうかがえた。



釣りにも挑戦！

① 薬膳サーモンの生産地視察 & 意見交換（続き）

【意見交換（一例）】

（小瀧）薬膳餌の開発・薬膳サーモンの生産は、日々やりがいを感じつつ絶対に成功させたいという熱意をもって取り組んでいる。しかし困難もある。

（府金）研究開発にはお金もかかると思うが、例えば補助金の獲得など、どのように進めているか。

（小瀧）補助金はまさに最近、ひとつ応募したばかり。結果待ち。

（横井）補助金の応募は、その要項をよく理解し狙いに沿った提案書の作成が必須。知見のある人などから適切なアドバイスをもらうことも必要だろう。また採択後の使い勝手についてもあらかじめ目を通しておく必要があるように感じる。

（田中）そういう相談はどこにすればよい？

（横井）いろいろ情報収集はしている。獲得した実績もあるので、私も多少のアドバイスはできる。

（府金）私も、周囲の知見のある人に相談しながら、薬膳サーモンの取組みに合った補助金事業等をピックアップすることはできると思う。別途メールする。

（田中）水産女子事務局も、相談すれば力になってくれることもあるように思う。水産女子の活動を通して、会社の枠を超え女性の力で困難を解決し、水産業を盛り上げていける体制を築けたら良いですね。

② 札幌市中央卸売市場視察

【はじめに：「札幌市中央卸売市場」について】

- 札幌圏230万人の食を支える、北海道で唯一の中央卸売市場。
- 扱っている品数や規模は全国5位くらい。※年によって変動あり
- 青果物と水産物を取り扱っている。
- 見学は、申請し許可を得た場合のみ可能。
※今回は水産女子事務局から申し込んでもらうことで、許可取得。案内役もつけていただいた。

【視察内容】

- 「札幌市中央卸売市場」とは？パンフレットと動画による座学。
- 水産棟を見学しながら移動。まぐろ・かにのせりを見学。
- 展示室見学
- 仲卸業者「札幌丸水中央卸水産」と意見交換



案内役の村上さん

市場の魅力を真っ直ぐにわかりやすく伝える、笑顔が魅力的な村上さん。普段は案内役業務以外にも、市場内の円滑な運営のため、総務や庶務を担当。場内を一緒に歩いていると、多くの関係者から声をかけられ、明るく笑顔で会話する様子は、市場のムードメーカーになっているようにも感じた。

女性の活躍に触れることができました！

② 札幌市中央卸売市場視察（続き）

【視察の様子】

1. 「札幌市中央卸売市場」とは？パンフレットと動画による座学。

- ・「卸売市場」の役割、取扱品を理解。
- ・せりの役割や、鮮度を落とさないための独自のせりの手法 等を学ぶ。



2. 案内役の村上様とともに、水産棟を歩いて移動。

- ・場内には食堂やコンビニ・文房具や資材・備品を取り扱う店・床屋等があり、利便性が高い。
- ・まぐろ、かにのせりを見学。鮮度を落とさないための「一声せり」が行われていた。



② 札幌市中央卸売市場視察（続き）

3. 展示室見学

- ・ せり場にいる人たちの帽子に関する雑学（色や番号の意味など）。
- ・ 市場内外を小回りに走り運搬等を支える天然ガス自動車「ターレット」に試乗。
- ・ せり人に資格は必要？などの質疑応答。



4. 仲卸業者「札幌丸水中央水産株式会社」様と意見交換

- ・ 「みなさん、会社はバラバラなんだね」というコメントを受け、自己紹介。
- ・ 「日本初の女性せり人は当市場から出た」とのお話あり。
- ・ 横井さんの担当業務（陸上養殖）について興味深々。多数の質問あり。
- ・ 「これからも女性のパワーで水産業を盛り上げる活動が広がっていくことを期待する」との応援コメントをいただいた。



③（番外編）視察あれこれ

1. 札幌市街地の「LUSH」店舗 訪問

メンバーの田中さんは「こんぶのせっけん」の取組みで昆布生産者をサポート中。その昆布は田中さんからLUSHにも納品され、人気商品「バスボム」の材料に使われている。そんなご縁もあり、店舗にふらっと立ち寄り、フタッフさんと対談。

女性が多く活躍中のLUSH。「社会で女性が活躍している様子は嬉しい」「視察の流れで店舗を訪問していただき交流できたことは嬉しい」とのコメントを頂いた。



↑ 田中さんの取組「こんぶのせっけん」



↑ スタッフさん（中央）と記念撮影！
← 昆布が使われているのは○の2種類

2. 新千歳空港の回転寿司「函太郎」訪問

薬膳サーモンを扱う寿司屋があると聞き、朝食の満腹感も引かぬままお昼時に訪問。ありました！おすすめランキングの2位と7位にランクイン。店内でも常時「薬膳サーモン・お待ち！」の声が聞かれ、その人気ぶりがうかがえた。



(←左) タッチパネル：紹介画面

(中央→) タッチパネル：おすすめランキング

(右→) 何も知らないで「普通のサーモンと何が違うんですか？」と質問したところ、提供されたペラ。板前さんがヘルシーだということを説明してくれた。



視察を終えて 感想



視察を終えて 感想

- 株式会社BKTC 小瀧由貴

私は、昨年水産女子に初加入いたしました。

初対面の水産女子メンバーの方々とここまで共創できたことは奇跡に近いと思いました。

水産業界も、こういったチーム力で共存共栄できると実感いたしました！

- 株式会社大成 田中淳子

北海道の視察を通じ、色々な人とお会いして女性のパワフルさを実感しました。

今後も意見を交換しながら仲間を応援し、自分の仕事に役立てて行けたらと思います。

- NTTグリーン&フード株式会社 横井優子

水産女子として、チームの皆さまと色々な場所を見学しながら、有意義な話ができただけが何よりも良かったです！

モチベーション向上になりました。今後もこういった活動を通じて、仲間作りをしてきたいです。

- 日鉄エンジニアリング株式会社 府金佳子

これまで業務において女性と関わることはほとんどありませんでしたが、今回の視察で、グループメンバーが高いモチベーションで仕事に向き合っている様子に触れ、大きな刺激になりました。このグループを始めとした水産女子のご縁を大切に、定期的に情報交換・情報発信などを行いながら自分の知識を高めるとともに、女性にとっても魅力と活力のある業界だということを伝えていきたいです！

ありがとうございました



- 株式会社BKTC 小瀧由貴
- 株式会社大成 田中淳子
- NTTグリーン&フード株式会社 横井優子
- 日鉄エンジニアリング株式会社 府金佳子

グループワーク ～次期活動の目標設定～

資料2

- 
- 水産女子PJに加入してから、
- ➔解決したいこと、やりたいことはあるけど、本業が忙しくてなかなか手をつけられない・・・
 - ➔何か挑戦したいけど何から始めればいいのかわからない・・・

一年間の目標を立て、活動のきっかけとしましょう！

グループワークの流れ

- ①解決したいこと、達成したいことについて意見交換 (30分)
- ②グループの活動目標を立て、シートに記入 (5分)
- ③各グループの目標発表 (10分)

—————【推進会議後】—————

- ④報告期限（約1年後の予定）までに、取組結果の報告書を提出

考え方・目標の例

- ✓この仕事をもっとたくさんの人に知ってほしい、イメージを変えたい！
→目標：SNS（水産女子公式Instagramなど）で仕事の様子を月〇回は発信する、#水産女子や#水産女子pjをつけて投稿する
- ✓同じ地域で活躍するメンバーと繋がりたい！
→目標：〇〇さんの加工場へ見学に行く、このグループで〇回Web会合を開く
- ✓同じ悩みを持つメンバーと情報交換をしたい！
→目標：「△△」をテーマに勉強会を開催する
- ✓自分の業務で悩んでいる「◇◇」を解決したい！
→目標：××を製造する企業とコラボして、お助けグッズを開発する

注意事項

- ・水産庁から資金面での援助は出来ません。ただし、参画企業等やメンバー同士を繋ぐお手伝いができます。
- ・グループの活動目標の設定が難しい場合、個人目標であっても構いません。定期的にグループ内で進捗を共有し、最終報告書を作成してください。
- ・活動は強制ではありませんので、未達成でもペナルティはありません。
- ・各グループは事前のアンケートをもとに、事務局によって振分けます。

(4) メンバー同士の意見交換



メンバー同士の交流や、悩み、情報の共有などを目的としています。
トークテーマにとらわれすぎず、自由にお話してください。



トークテーマ

- ・ 水産資源の持続可能な利用・活用のためにできる取組やビジネスのアイデア
- ・ 女性をはじめとして、水産業への就業者を増やすためにはどうしたらよいか？

【参考】



これまでの活動実績 (H30.11～R6.10)

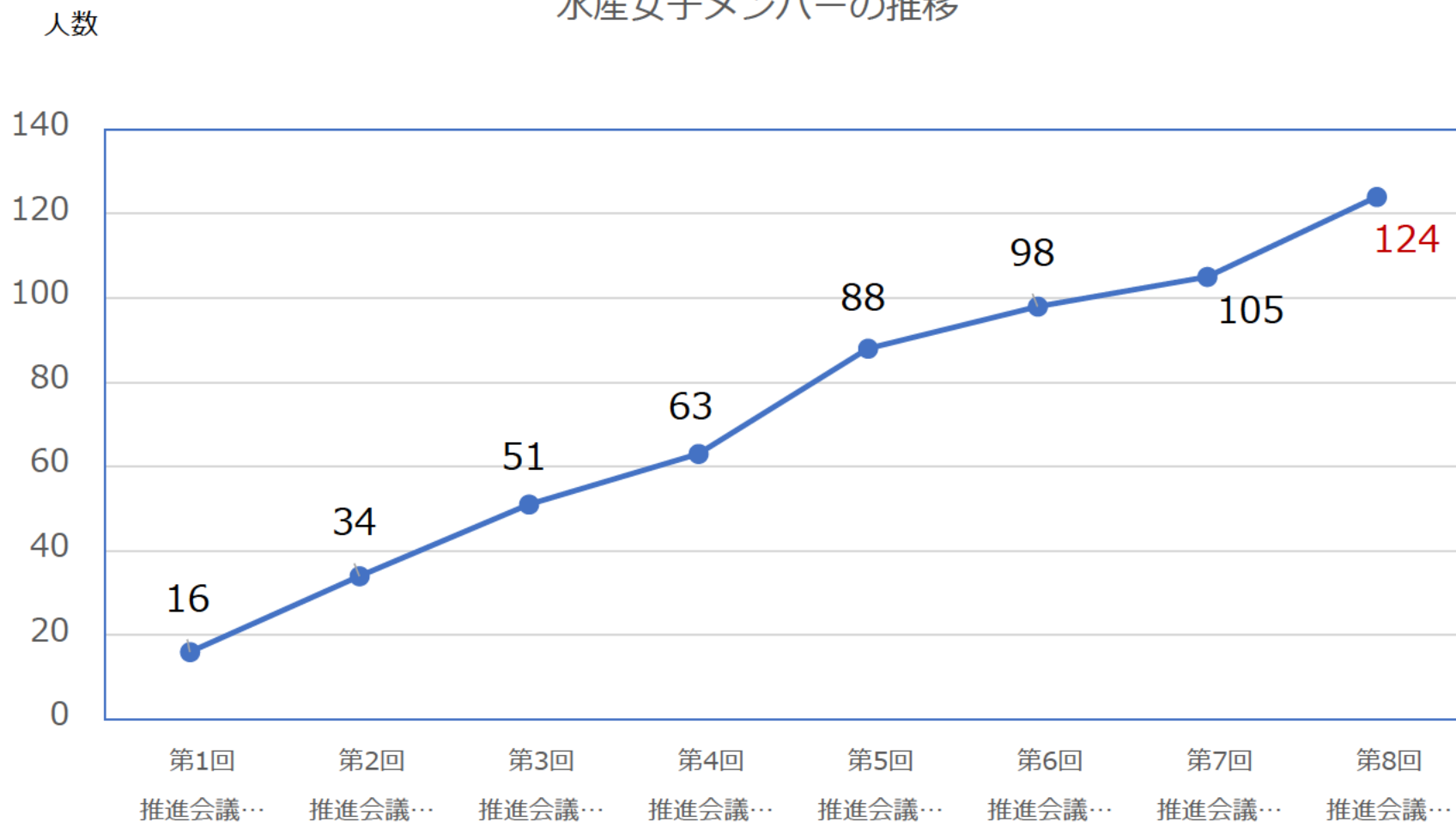
水産女子プロジェクトは平成30年11月に発足しました。

過去の活動を振り返ってみましょう。

- ・ 推進会議、分科会
- ・ イベント（催事等出展含め）
- ・ 参画企業との連携
- ・ 情報発信（SNS、チラシ、ピンバッジ）

水産女子メンバーについて

水産女子メンバーの推移



活動実績～令和6年度～

令和6年8月
第28回ジャパンインターナショナルシーフードショーに出展！



活動実績～令和6年度～

令和6年2月
未利用魚に関するWEB会議
～未利用魚の別称を考える会～を開催しました。



令和6年8月
こども霞ヶ関見学デーにてパネル展示、
あふ食堂とのコラボを行いました。

海の宝!水産女子の元気プロジェクト

海の宝!水産女子の元気プロジェクト × あふ食堂

あふ食堂こども限定メニューに水産女子メヒカリの唐揚げ登場!

「遊ぶ、学ぶ、食べるプレート」に水産女子
吉田しのぶさんのメヒカリを使った唐揚げ
が登場! ふわふわサクサク食感のメヒカリ
をどうぞ!

吉田しのぶさん(漁師)

メヒカリってなに?
本来の名前はアオメエソ。
深海にすみ、目が光るので「メヒカリ」と
呼ばれています。脂ののった白身が絶品!



活動実績～令和6年度～

令和5年10月
第7回推進会議（3年ぶりの対面開催！）

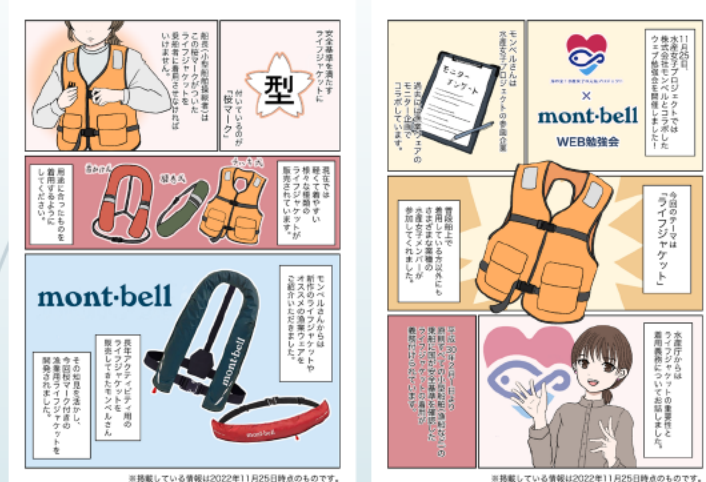


令和6年2月
ECについてのWEB意見交換会を実施しました。



活動実績～令和5年度～

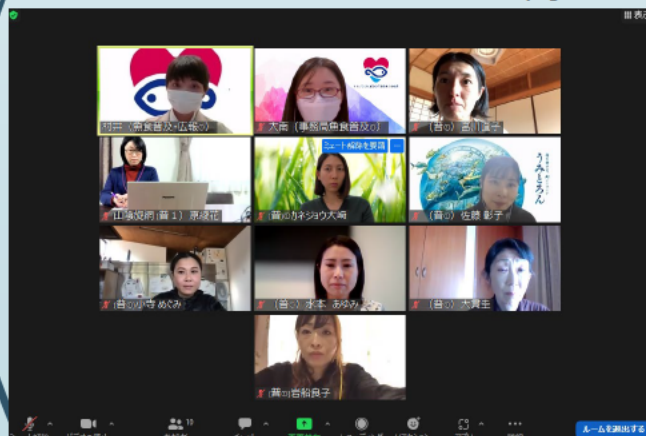
令和4年11月
参画企業モンベルとのオンライン勉強会開催



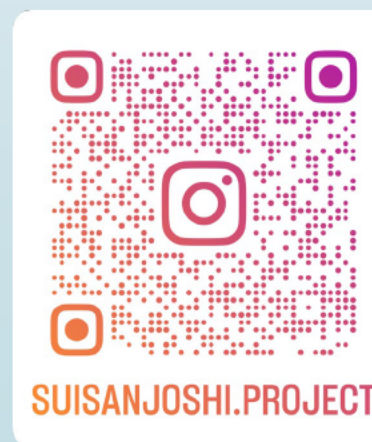
令和4年12月
参画企業カネコ総業とのモニター企画実施



令和5年3月8日
第6回推進会議（オンライン開催）



令和5年8月
水産女子PJ公式Instagram開設！



活動実績～令和4年度～



令和3年12月～4年4月
味の素+農業女子PJ+水産女子PJ
減塩レシピコンテスト



aff 2022 JULY 7月号

海ではたらく！

01

アクティブに輝く

水産女子の活躍！



令和4年7月 農林水産省広報誌「aff」
特集 海ではたらく！
アクティブに輝く水産女子の活躍！

令和4年8月
ジャパン・インターナショナル・シーフードショー
「水産業に元気を！水産女子セミナー2022」



令和4年10月 政府広報番組
ビビるとさくらとトモに深掘り！知るトビラ
「海の宝！水産女子」を放送

活動実績～令和3年度～



令和3年4月7日
ピンバッジ作成！

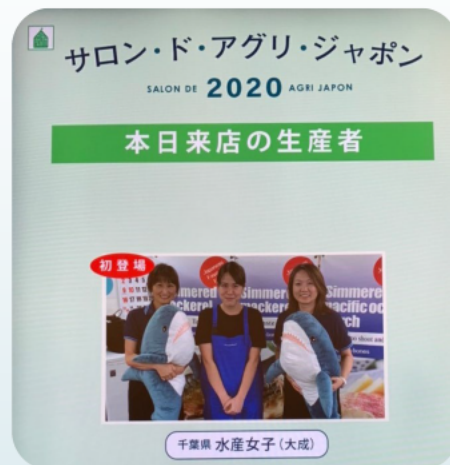


令和3年7月1日
NECライベックス×水産女子
社員食堂コラボが始まりました。



令和4年1月23日
FOOD & TIME ISETAN YOKOHAMA
でコラボ商品が発売されました。

活動実績～令和2年度～



令和2年11月4～5日
サロン・ド・アグリ・ジャポン
伊勢丹新宿店に出店しました。

100年後の水産業を担う!

水産庁

水産女子

千葉県・大成

11/4 (水)・11/5 (木)

水産庁が立ち上げた「水産女子プロジェクト」は、漁業で働く女性ならではの視点とつながりで、100年先も豊かな水産業を目指す。

す。商品は湯煎で食べることができ、冷凍で1年保存可能。高齢者施設や、魚焼き器のない東南アジアでもニーズを高めている。




会場では「かれの煮付け」などを販売。千葉県銚子市の〈大成〉に所属する水産女子が来場。

活動実績～令和2年度～



ジャパン
ハーヴェスト
2020

令和2年11月1日
ジャパンハーヴェスト2020
Japan Harvestライブを行いました。



配信を行いました！
YouTubeでアーカイブを
要チェック👉

資料2

水産女子メンバー
活動報告書

【令和3年3月】

発行所：水産女子の元気プロジェクト事務局

活動実績～平成31-令和元年度～



令和元年6月7日に
第2回推進会議が
行われました。
メンバーは34人。

ロゴマークの登場! 第2回推進会議開催

活動実績～平成31-令和元年度～



令和元年 8月7日～8日
こども霞ヶ関見学デーに
メンバーが登場！



令和元年10月1日～31日
阪神百貨店のチラシ
「10月は魚食普及月間」
にレシピを提供しました。



令和元年9月18日
JF全国女性連フレッシュ・ミズ
・プログラム（西日本）で
メンバーが講演しました。

活動実績～平成31-令和元年度～

令和元年11月2日
～3日
ジャパンハーヴェ
スト2019に出展し
ました。



令和元年11月8日
日経BP社
東京サステナブル・シーフ
ード・シンポジウム
分科会にメンバーが出演。



活動実績～平成31-令和元年度～



令和2年1月21日
第3回推進会議が行われ
ました。
メンバーは51人。



活動実績～平成30年度～



第1回推進会議が
行われました。
初期メンバーは16人。



平成30年11月16日
海の宝！水産女子の元気プロジェクト立ち上げ！

活動実績～平成30年度～



平成30年11月25日
Fish-1グランプリに
ブース出展しました。



平成31年3月23日
第5回国際女性会
議WAW! / W20に
ブース出展しまし
た。

